

ふれあい情報

# 速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)  
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛  
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11  
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541  
 <e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp  
 <ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

2014年 11月13日(木) **第191号**

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

地域活動●事例紹介

地域で  
つながり

## 人生を楽しむ



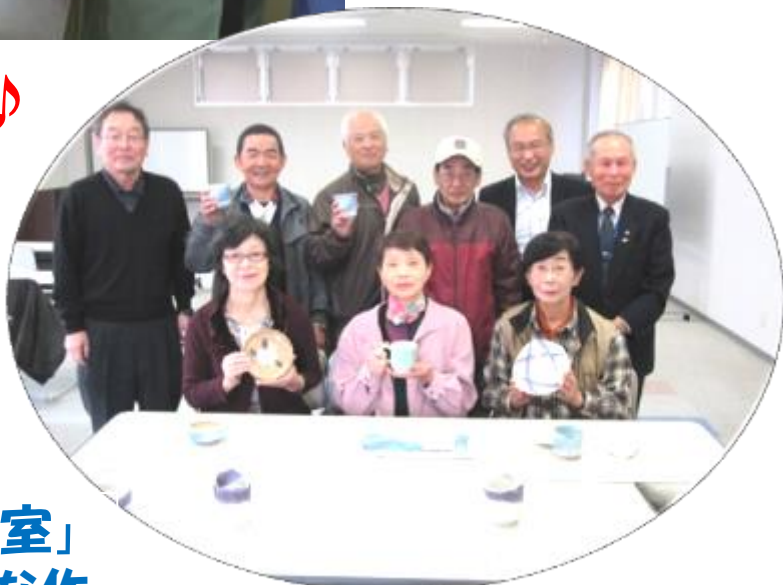
### 鳥取高退連

鳥取高退連(齋木兵治会長。会員二六六五人)では、趣味やスポーツ、社会貢献など様々な活動に取り組んでいます。特徴は、できるだけ暮らしの場での活動づくりにするため、県内を東部・中部・西部の三つの地区にわけ、各地区が軸になってすすめていることです。鳥取高退連の活動をご紹介します。  
 内容は、鳥取高退連第二二回定期総会(9月30日開催)活動報告から要旨を抜粋したものです。

### お爺自慢の料理教室♪



第2回学習会「元気で長生きできる食生活」。(2014年6月12日、鳥取市・さざんか会館栄養指導実習室。16人参加。東部地区協)



**「陶芸教室」**  
 どうです、ステキな作品に仕上がったでSHOW。

(2013年10月17日、倉吉市「国造焼き・上神焼き」窯元、13人参加。

<3地区協の主な年間行事> ( )は参加人数

地区協名	行事・活動内容	*連合鳥取の集会・行事等への参加分は除く
東部地区協	①グランドゴルフ大会 2回 (128人) ②学習会「はじめていますか?介護予防」(42人) ③料理教室「元気で長生きできる食生活」(16人)	
中部地区協	①グランドゴルフ大会 (2回、参加165人) ②学習会「介護保険制度の法律改正と介護予防について」(35人) ③囲碁将棋大会 (19人) ④料理教室「三朝・神倉豆腐づくり」(29人) ⑤陶芸教室 (13人)	
西部地区協	①グランドゴルフ大会 (66人) ②交流会「ブルーベリー狩り」(78人)	

「地区協活動に参加しませんか」。これは、鳥取高退連のキャンペーン用の文句です。こうした県内でのPRを通じて住んでいる地区の活動への積極的な参加を会員に呼びかけていま

活動を通じた地域の「絆」づくり、七八四人が参加

す。昨年九月以降の一年間では三地区の合計で延べ七八九人の会員が参加し、お互いの親睦と交流をはかり、絆を深めました。



熱戦!

囲碁・将棋大会

(二〇一四年七月三日、北栄町・高齢者保健センター、一九人参加。中部地区協)

料理教室。「三朝・神倉豆腐づくり」に挑戦。

(2013年11月11日、倉吉市・JA中央大豆加工所、29人参加。中部地区協)



青空の下、第2回グランド・ゴルフ大会を楽しむ。

(2014年5月13日、北栄町・お台場公園多目的広場。88人参加。中部地区協)





生きがいづくり 健康寿命づくり 仲間づくり 地域づくり

社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。鳥取には、全国に知られる「鳥取砂丘」があります。東部地区協では、この美しい砂丘を守るため自治体呼びかけの「鳥取砂丘一斉清掃」活動に毎年参加しています。清掃活動は春と秋の年一回。今年四月と九月に実施され、会員三三人が参加しました。

社会貢献活動に参加 鳥取砂丘クリーン作戦



「三度春と夏に実施。写真は二〇一四年四月二十七日、三三人参加。東部地区協」



介護の充実で鳥取県に要請。

(2013年11月27日、鳥取県庁。要請書を平井伸治知事に手渡す鳥取高退連・齋木兵治会長・左)

「生活の場」地域の活動「から見え」

鳥取高退連の取り組みの中から見えてくるものは、退職者連合がめざす地域・地区活動の一つの姿です。

人生九〇年時代を向かえ、元気な高齢者や退職者が、住み慣れた地域で集う意義には三つあります。

第一は、趣味やスポーツの交流・親睦など余暇活動を通じた「文化的で健康的な暮らし」の充実です。第二は、生涯現役として「社会に役立ちたい」との思いを実現することです。身近な場所でのボランティア



介護予防をテーマに第1回学習会。(2014年3月6日、鳥取市・鳥取県労働会館、42人参加。東部地区)

活動は、社会貢献として「生きがいづくり」となっています。しかもこうした活動は、生活している地域(地元)で生涯にわたって安心して暮らせる「コミュニティ」地域づくりにもつながっていきます。第三には、医療や介護、まちづくりなど地方行政に高齢者や退職者の声を積極的に意見反映させていることです。そのための学習会をしっかりと開くことも大切です。こうした意義を退職者連合では、「生きがいづくり」「健康寿命づくり」「仲間づくり」「地域づくり」＝「四つのお達者づくり」と呼んでいます。

# 連合鳥取とも地域でがっちりスクラム

鳥取では、高退連と連合の連携した取り組みも進められています。具体的には連合の三地協(東部、中部、西部)が毎年開催する集会や「メーデー」、八月に実施する「ピースウォーク」などに参加していることです。今年、三地区メーデーに合計三四人が参加しました。また八月の「ピースウォーク」は、東部が二日、中部は八日、西部が九日にそれぞれ開かれ、三地区合わせて会員三六人が参加しました。



## 第85回メーデーに参加

連合鳥取・中部地協メーデーに現・退一致で参加。(2014年4月27日、倉吉市・天神川河川敷「飛天広場」、13人参加。中部地区協)

退職者組織の活動にとつては、現役の仲間・労働組合との連携は不可欠です。鳥取高退連は、連合鳥取との現・退一致の取り組みをしつかり進めています。

一方、県レベルでは労福協、労金、全労済など自主福祉団体との連携もすすんでいます。またライフサポートセンターの活動にも積極的に参加・協力しています。とくに鳥取高退連では、連合鳥取からの要請に基づき、全

労済鳥取県本部と鳥取県共済に役員を派遣しています。具体的には、全労済鳥取県本部には経営委員、鳥取県共済では理事を担当しています。

連合鳥取を軸に高退連、労福協、労金、全労済と連携した取り組みは、鳥取における「地域に顔の見える連合運動」づくりといえます。

- ▲連合鳥取・中部地協主催のピースウォークに参加。(2014年8月8日、倉吉市・県立倉吉体育会館、12人参加。
- ▼中部地区協)連合鳥取・東部地協主催のピースウォークに参加。(2014年8月2日、鳥取市内、14人参加。東部地区協)

